

水化学部会定例研究会開催概要

水化学部会では最新のプラントに関する情報交換を目的に定期的に研究会を開催している。最近行われた研究会の概要及び講演テーマを次回開催予定の研究会と併せて下記に示す。

なお、各講演資料は水化学部会ホームページに掲載されているので、詳細についてはそちらを参照下さい。

◎ 第20回研究会（平成25年10月29日：九州電力株式会社 本店）

福島第一原子力発電所の事故以降、国内の原子力発電所は過去に経験のない長期間の停止を余儀なくされており、その影響を考慮した水化学管理の対応やプラント再稼働に当たっての取り組みについて紹介された。また、平成26年10月に開催を予定している水化学国際会議2014札幌の開催概要について紹介された。

講演1「PWR プラント長期停止影響と再稼働時水化学管理要領について」三菱重工業(株) 前田哲宏氏

講演2「大飯3, 4号機 PWR 長期保管後のプラント再稼働における水質管理」関西電力(株) 寺地巧氏 宮脇晃之氏

講演3「長期停止後の再稼働に向けた適切な亜鉛注入管理の検討について」九州電力(株) 廣瀬篤志氏

講演4「BWR プラント長期停止時の保管対応に係る検討」(株)東芝 平澤肇氏

講演5「原子力発電プラントの水化学に関する国際会議2014 札幌実行委員会報告」(株)東芝 瀧口英樹氏

◎ 第21回研究会（平成26年3月6日：東京電力株式会社 電気の資料館）

福島第一原子力発電所における廃炉措置等に向けた取り組みとして、汚染水への対応状況、燃料取り出し状況及びオフサイト除染の状況について紹介された。また、海水及びγ線の材料腐食への影響についての評価報告があった。

講演1「福島第一原子力発電所の現状と汚染水への対応について」東京電力(株) 鈴木純一氏

講演2「福島第一原子力発電所4号機使用済燃料プールからの燃料取り出しの取り組み状況について」東京電力(株) 徳森律朗氏

講演3「東芝のオフサイト除染の取組み」(株)東芝 高倉恵太氏

講演4「汚染水浄化設備への取組み」日立GEニュークリア・エナジー(株) 川崎透氏

講演 5「材料腐食への海水及びガンマ線の影響評価」(独)日本原子力研究開発機構 本岡隆文氏

◎ 第 22 回研究会 (平成 26 年 6 月 17 日 : 一般財団法人電力中央研究所 狛江地区)

最新の分析技術の動向として、原子力材料の SCC, 照射脆化等の研究に用いられる分析技術に関する報告があった。また水化学管理の分析に多く用いられているイオンクロマトグラフの最新動向についての紹介があった。

講演 1「アトムプローブを用いた照射脆化研究」(一財)電力中央研究所 土肥謙次氏

講演 2「格納容器/圧容器内部監察技術の開発」(独)日本原子力研究開発機構 伊藤主税氏

講演 3「TEM を用いた SCC 亀裂先端のマイクロ分析」(株)原子力システム研究所 藤井克彦氏

講演 4「S-Pring8 施設を用いた材料の局所ひずみ・応力解析」(公財)高輝度光科学研究センター 梶原堅太郎氏

講演 5「最新のイオンクロマトグラフの動向」サーモフィッシャーサイエンティフィック(株) 中西雄一氏

◎ 第 23 回研究会【予定】(平成 27 年 3 月 12 日 : 電源開発株式会社本店)

日本原子力学会標準「沸騰水型原子炉の水化学管理指針」及び「加圧水型原子炉一次系の水化学管理指針」概要報告及び水化学国際会議 2014 札幌の実施報告を予定している。